

奈良いのちの電話協会 プライバシーポリシー

社会福祉法人 奈良いのちの電話協会は、個人情報の重要性を認識し、個人の尊厳を最大限に尊重するという基本理念のもとに、その取り扱いには細心の注意を払い以下の取り組みを実施しています。

なお、個人情報とは氏名、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、社会保障・税番号（マイナンバー）など個人を特定できる情報とします。

1、利用目的の特定

- ・当協会が個人情報を扱うに当たっては、守秘義務を徹底し、その利用目的をできる限り特定します。

2、利用目的外の制限

- ・本人の同意を得ることなく、利用目的を超えて個人情報を扱いません。

3、取得に関する規律

- ・個人情報を取得するときは、その利用目的を具体的に特定し、適法かつ適正に行います。ただし、人の生命、身体または財産の保護のために緊急に必要がある場合には、利用目的を特定することなく、個人情報を取得することがあります。

4、データの適正管理

- ・利用目的達成のために、常に個人データを正確かつ最新の内容に保つよう努めます。
- ・取り扱う個人データの漏洩、滅失、毀損の防止のほか、個人データの安全管理のために適切な措置を講じます。
- ・個人データを扱う職員（ボランティアスタッフなどを含む）に対して、個人データの安全管理に必要な指導、監督を行います。
- ・利用目的の必要がなくなった個人データについては、6ヶ月を超えて保有することのないよう速やかに消去します。
- ・相談電話について、当協会では相談内容の検証が必要なときのため、全ての通話を自動的に一定期間録音させていただいています。なお、通話の内容は外部に対してはもちろん、当協会内でもその秘密は堅く守られます。

5、個人データの第三者提供の制限

- ・法令に基づくときなどを除き、本人の同意を得ることなく個人データを第三者に提供はしません。

6、保有個人データの開示

- ・本人から保有個人データの開示を求められた場合には、法令に違反するときなどを除き、本人であることを確認したうえで開示します。

7、保有個人データの訂正、削除など

- ・本人から保有個人データの訂正、追加、削除または利用停止を求められたときは、速やかに必要な調査を行い、その結果に基づいてそれらの措置を採ります。

8、個人情報保護管理者などおよび苦情対応

- ・個人情報の適正な管理を図るため、理事長を個人情報保護管理者に、事務局長を個人情報管理責任者として定めます。
- ・個人情報の取り扱いに関する苦情を適切かつ迅速に解決するため、苦情処理委員会を設置し苦情解決責任者は苦情処理委員会委員長とします。

9、役職員などの責務

- ・役職員など（ボランティアスタッフなどを含む）および役職員などであった者は、業務上知り得た個人情報の内容を第三者に漏洩すること、または、不当な目的のために利用することは決してありません。